



会長 高山泰四郎
幹事 坂本肇

会長テーマ

「ロータリーの魅力を探ろう！」

例会日／毎週月曜日 12:30～
例会場／トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

- ・例会出席によって……
- ・委員会活動の実践で……
- ・地区行事への参加で……
- ・家庭集会の場で……



2013～14年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを 実践し
みんなに豊かな人生を」

R I 会長
RI第2720地区ガバナー
ガバナー補佐

ロンD・バートン
赤山武興
赤嶺昭

■ 本日のプログラム (11月25日)

12:30 点 鐘
ロータリーソング 「四つのテスト」
ゲスト・ビジターの紹介 会長 高山泰四郎
会長の時間 会長 高山泰四郎
出席報告 委員長 穂田英一郎
幹事報告 幹事 坂本肇
委員会報告 関係委員会
ニコニコタイム 親睦委員長 吉良昌一

13:00 卓話の時間
「今お伝えしたい!! 知っておきたいからだのこと」
黒本美耶子様 (大分県助産師会会長)

■ 第15回例会の記録 (11月18日)

・出席報告 (11月18日)

会員総数	15名 (うち名誉会員 2名)
11月 18日	
出席免除	2名
出席会員数	7名
出席率	53.85%
ゲスト	1名
ビジター	49名
10月 28日	
修正出席率	100%

(サインのみ受付)

■ 次週の例会 (第17回 12月2日)

年次総会～次年度理事・役員発表

ロータリーソング 【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (11月25日) 会長 高山泰四郎

「再び会員増強に向けて」

今年度の我がクラブの最重要課題は「会員増強」です。去る8月19日の例会で、鳥越増強委員長による「会員増強プログラム」が行われました。今年度は「会員1人が1人を入会に導く」という意識の下、会員数20名を達成することが委員会の目標となっています。

しかし乍ら、現状は年度初め以来4ヵ月余り過ぎましたが、未だに増減はありません。年度前半も残り少ない今、ここで改めて新たな気持ちで会員増強への意識を高める必要があります。

今後は例会時に声かけ状況を報告して頂く時間を設けたり、夜間例会時には入会候補者をオブザーバーとしてお招きして、クラブの雰囲気味わって貰うことも良いと思います。来る12月9日(月)の例会で、再び「会員増強プログラム」を開いて増強の成果に結びつけて行きたいと思います。

一人ひとりが真剣に取り組んで、目標達成を目指しましょう！
“1人が1人の入会者を！”

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト
児玉由美子様(元GSEメンバー)

幹事報告

- ・地区委員会推薦のお願い
- ・2014年国際ロータリー年次大会(シドニー大会)のご案内
- ・平成26年1月8日(水) 新春合同例会 18:00～ トキハ会館
- ・平成26年2月4日(火) 日出RCとの合同例会 にしおか

ニコニコタイム (11月18日分)

小野会員 (自主2口)

17日のラグビー教室に参加予定でしたが、仕事多忙で体調がすぐれず、欠席いたしました。お詫びにニコボックスいたします。

全会員 (自主1口)

17日のラグビー教室が無事に終わりました。事業の成功を祝して全会員にニコボックスをお願いします。

こんにちは！

国際ロータリー第2720地区財団学友会です。

Q：第2720地区財団学友会とは？

第2720地区財団奨学生あるいはGSE団員であった者が会員として所属する会です。

会員数 奨学生 95名 GSE 55名 合計150名
2013(H25)年6月末現在

Q：学友会の目的とは？

会員相互の親睦と研鑽を図るとともに、ロータリーの活動に貢献することを目的としています。

Q：その活動は？

上記の目的を達成するため、学友委員会とも良く連携し、情報交換、研修会の開催、卓話、例会及び地区大会への参加その他の活動を行うこととする。

これまでの学友会について

第2720地区での設立1986(S61)年11月

熊本と大分各県で2年ごとに役員を交代し、活動

奨学生は留学後地元に戻ってくる者が少なく、活動はGSE経験者が中心となって行ってきた。GSEが2003(H15)年以降中止されると、2006年(H18)年より活動が自然消滅してしまった。

2010(H22)年財団学友委員会委員長に就任された高山泰四郎氏より、2010(H22)年7月から学友会活動再開を目指そうというお話があり、大分の学友会委員経験者を中心として活動再開

開の為、動き始める。

2011(H23)年4月から2013(H25)年6月末までに、15回以上の会議・懇親会、3度のニュースレター発行、地区大会への参加、GSE受入時の通訳等のアテンドなどを通して再び動き始めました。

2011年(H23)10月30日に日本ロータリー学友会が結成されました。当初11学友会の参加がありましたが、この結成時に当地区は参加表明が間に合いませんでした。

すぐに登録をして、翌2012年(H24)の第2回大会(東京)に出席を致しました。

RIの「未来の夢計画」に伴う学友会の体制と支援などについての討議や、登録された日本各地23地区の学友会相互の交流と情報交換を行いました。

GSEとは

Group Study Exchange(研究グループ交換)

職業をもつ20代から30代の男女4名で構成される職業人研修、ロータリアン1名が団長として団員4名を統率。

海外の地区とそれぞれグループ交換

ロータリアンの皆さんのお宅にホームステイ

各々の職業分野における研修

ロータリー例会や会合、地区大会などに参加して国際交流

今後は、VTT(Vocational Training Team)となります。

ロータリーの奨学生であったことは、誇りであり、ロータリーの精神を引き継ぐことは使命であると信じているという小長さんや衛藤さん。

この気持ちは、私達、学友会会員の気持そのものです。

現在大分で活動している会員はGSE経験者で、奨学生に比べると期間も短く、内容も勉学ではなく、職業を通してという違いがあります。が、ロータリーの皆さんのおかげで、大変貴重な経験をさせていただいたことへの感謝の気持ちは変わりありません。

これからの学友会には、新しい若い方たちへの働きかけを強めていかなければならないと思っています。

その時には、現在までの会員である私達のこの気持ちを一緒に

に伝えていくことが重要であると思っています。

また、今回皆様にお知らせした小長さんのように、海外で活躍されている方も、決して故郷のこと、当時派遣して下さったRCへの御恩は忘れていないこと、機会があればそのご恩返しをさせていただきたいと思っている人がいることに気づきました。

地元にいる会員として、インターネットを通して、新しい学友のつながりを見つけ、それを、ロータリーの皆様にお知らせするとともに、そこから、また新しいご縁がひろがっていくようにすることも、今後の活動の一つとして取り入れてまいりたいと思っています。

どうかこれからも学友会を知っていただき、利用していただけますようお願いして、学友会活動報告とさせていただきます。

先週の卓話の続き

『ロータリーの魅力・感動・感激・感謝』

RI第2720地区 大分第4グループガバナー補佐 赤嶺 昭 様

参加94カ国、世界の若人が集まります。代々木の国立競技場、7万5千の大観衆に見守られながら、ただ今から各国選手団の入場を迎えようとしております。先頭を切って入場して参りましたのは、あのオリンピック発祥の地ギリシャの選手団であります。あのエーゲ海の海の青さと、真っ赤に照りつける太陽の赤が見事にコントラストしました。ギリシャ国旗が私達7万5千人の目にパッと映って参りました。いま94カ国の選手団が入場を終え一斉にフィールドの中に集まってまいりました。さあ今から起こりうる奮闘、そうですオリンピックの花、聖火の入場を迎えようとしております。この7万5千の大観衆とこのテレビを観戦の一億の瞳が、今一斉に東ゲート口に目が向けられます。

「聖火は未だでしょうか？未だでしょうか？」あっ見えました。オレンジ色の炎、その聖火をしっかりと持った坂井義則君が、今国立競技場に姿を現して参りました。

思えば8月21日ギリシャのオリンピア・ヘラ神殿で太陽の光から点火されました聖火、イラン、イラク、ペイルート、野を越え、山を越え、海を横切り、谷をつつ走り、延々2万7千キロ世界の若人に運ばれた聖火が、今国立競技場に姿を現して参りました。

第二コーナーから第三コーナーを回りまして直線にかかって参りました。坂井義則君、いよいよロイヤルボックス前163段の階段にかかって参りました。さあ一登ります、坂井義則君、そのカモシカのような足は戦争を知らない若者の姿であり、これから日本を背負っていく若者の姿であります。一気に163段の階段を登りつめました坂井義則君、今聖火台の右手に立ち高々と聖火を高く上げました。7万5千の歓喜に応えます。さあその背をくると右に曲げ点火、点火しました。10月の青い空、一本の聖火が直径2メートルの大きな炎に変わったのであります。これから燃え続ける事でありましょう15日間、そしてこのオリンピックが終わった後も、永遠に日本民族の心に「心の灯火」として燃え続けることでありましょう。

それでは、この辺で国立競技場から「さようなら」

ご静聴ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

来年の1月3回目の訪問をさせていただきます。今日はありがとうございました。宜しく願い申し上げます。